

健康経営の取組紹介

1 健康経営とは

「健康経営」とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することです。企業理念に基づき、従業員等への健康投資を行うことは、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらし、結果的に業績向上や株価向上につながると期待されます。(経済産業省のホームページより抜粋)

企業が社員の健康に投資することで、会社が発展すること

2 風土改革の手立てとなる健康経営



健康診断の結果、肥満、高血圧、脂質異常等、生活習慣病予備軍の社員の多くが、喫煙、飲酒、運動不足、課題のある食生活でした。その原因を探ってみると長時間労働、男性中心の職場、ハラスメント等、職場でのストレスが影響していることが分かりました。それまで先送りしていた課題に向き合い、社員が心身ともに健康で働き続ける職場にしていくために必要なことは…!? その問い合わせが「健康経営」「働き方改革」「ダイバーシティ経営」の三位一体の取り組みで風土を改革することでした。

3 ウェルビーイングな職場づくりの実践

わが社の健康宣言

社員の心の健康・体の健康づくりに取り組むとともに、社員のより良い関係性づくりを通じて、良い社風と働き甲斐が共存した企業経営を目指します。

- ①「SPORTS DAY」の設定▶スポーツクラブの活用（法人会員）
- ②病気を予防するための食生活の推進
 - ▶社食の実施、健康栄養メモの配布、健康づくり研修会の実施
- ③「メンタルヘルスケア」の充実
 - ▶メンタルヘルス担当を設置、ハラスメント防止研修の実施
- ④「禁煙」の推進・「休肝日」の設定
 - ▶喫煙室の撤去・健康相談の実施・休肝日の設定を推奨
- ⑤社内環境を整備し「作業の効率化」「残業時間の削減」に取組む
 - ▶作業の見える化、多能工化、機械化、チームワーク力の強化、朝掃除の日を設定、ワークライフバランス研修会の実施
- ⑥年2回実施する面談時に、所属長が上記5項目の実施状況を確認する



職場安全衛生委員会



社食



健康づくり研修会



健康づくり図書



リラクゼーションスペース

4 成果…社内風土の改善

- ①ヘルスリテラシーの向上▶健康診断結果の改善、積極的な病気予防への取組
- ②チームワーク力の向上▶情報の共有化、協力体制の強化
- ③多能工化・作業の分担化▶新たな技能・技術の習得、短納期の実現

